



# たかおか

2023  
May

NO.781

# 5



## 新会長

# 抱負を語る

今年度、新しく就任した各団体の会長に抱負を伺いました  
(高岡商工会議所女性会は今年度会長の変更はありません)



## 高岡商工会議所青年部

会長 狩野 達郎

株式会社 狩野建設  
高岡市守護町2-9-34 ☎26-7081  
座右の銘：慎始敬終

### 『未知への挑戦』

#### ～可能性を信じて突き進もう～

日頃より当会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ようやく5月から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類へ移行するという一方で、アフターコロナへ向け経済も動き出しており、当会の活動も行動制限がないものとしてコロナ以前と同様に行っていきたいと考えております。

今年度は、過去の事業をただ踏襲するのではなく、先人たちの勇気と情熱はそのままに、未知の事業へ挑戦することで、会員全員の成長と企業の発展、地域の活性化につなげることを目指し、スローガンを「未知への挑戦～可能性を信じて突き進もう～」と掲げさせていただきました。

未知の事業へ挑戦することはより険しい道を歩むことに他なりません。しかし、それが我々経営者そして、リーダーにとっての使命であると認識し、その先にある可能性を信じて会員一丸となって突き進んで参ります。

実りの多い1年にするべく全力で活動して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

### <4月2日(日) 総会が開催されました>

高岡商工ビルにて総会が開催され、来賓も参加し約130名が参加しました。令和4年度事業計画・収支決算報告、令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)が滞りなく承認され、茂崎直前会長から狩野新会長にバトンが受け継がれました。

狩野新会長は、「未知の事業に挑戦することは、より険しい道を歩むことに他なりません。しかし、それが経営者、そしてリーダーにとっての使命であると認識して挑戦の先にある可能性を信じて共に汗をかき、共に手を取り、支え合いながら進んでまいりましょう。」と挨拶。

今年度の事業計画案として、私たちが求める「欲しい暮らし」を創出するため、空き家のリノベーションについて具体的な事例を通して学ぶリノベーションスクールを開催するエリアリノベーション委員会や投資の基礎や活用事例を学び、自社ですぐに実践できる知識を習得し、未来でも活躍し続ける企業を目指す未来への投資委員会等が新設されました。

### <今年度主要事業>

- ・会員の経営能力向上につながる事業
- ・クリエイティブなまちづくり事業
- ・デザインを活かした企業価値創造事業
- ・他単会及び会内、OBとの交流事業
- ・地域活性化と高岡YEGのブランディング事業



## 高岡商工会議所女性会

会長 今川 美千子 (再任)

有限会社アートスタッフ  
高岡市末広町9-58  
☎22-3040  
座右の銘：温故知新

### <今年度主要事業>

会員間の親睦・情報交換のための定例会／経営、文化、教養、各種資質向上をねらいとした研修や講演会の開催  
／全国商工会議所女性会連合会新潟全国大会への参加

### <4月24日(月) 総会が開催されました>

高岡商工ビルにて、総会が行われ、会員29名が参加されました。今川会長は「女性をはじめとする多様な人材の活躍・推進が期待されているため、自らの資質の向上や魅力ある高岡市の発展に貢献できるよう取り組んでいきたい」と意気込みを述べ、令和5年度事業として、定例会の開催ならびに全商女性連新潟全国大会への参加等が承認されました。



## 高岡伝統産業青年会

会長 吉川 和行

漆芸吉川

高岡市中川園町7-33 ☎25-6157

座右の銘：他力本願

### 創立50周年

今年度、高岡伝統産業青年会は創立50周年を迎えます。これまで関わって下さった方々、そしてこれからも応援して下さいの方々に感謝をお伝え出来るような1年に出来ればと思います。記念すべき今年度はこれまで継続してきた事業に加え、高岡の産業に携わる方々を巻き込み産地を盛り上げるような事業をスタートさせるべく画策しています。

また、50周年を境に会員の世代も大きく変化しているように感じます。今後若い世代が中心となることは勿論のこと、入会される方も産業従事者に関わらず多種多様な職種の方を受け入れた構成になってきております。

新世代の会員が今後事業継続出来るように、これまでの活動を見つめ直し、時代に合ったものへ変え

ていくことが今年度の目的になるかと思えます。

これまで以上に関係各所の皆さまの御協力が必要な1年になるかと思えますので、ご支援、ご指導頂ければ幸いです。

#### <4月13日(木) 総会が開催されました>

高岡商工ビル2階大ホールにて総会が開催され、会員31名と来賓18名が参加しました。吉川会長は「今後若い世代が担う高岡伝統産業青年会を、時代に合ったものに変えていくことが今年の大きな目標である」と挨拶。今年度の事業計画案として、立体駐車場を利用した展示会「かほり展」や産業観光「クラフツーリズム」の開催、今年度迎えた創立50周年のための「50周年委員会」を新設しました。

#### <今年度主要事業>

SNS推進事業・会員拡大・地域賑わい創出



## 伏木商工業青年部会

会長 鳥山 大輔

日本海産業株式会社

高岡市伏木2-1-6 ☎44-2153

座右の銘：原点回帰

### 初心を思い出し、新しい時代へ

三年間続いた行動制限がようやく解除となり、ニューノーマル時代と言われるようになりました。伏木地区も昨年の勝興寺の国宝指定という大きな出来事を受け、今後さまざまな変革をしていくと予想されます。

我々伏木商工業青年部会も対応していかなければならない中、昨年度までは活動縮小を余儀なくされ、また事業所の廃業、少子高齢化などの影響から年々会員数も減少するなど苦戦を強いられている状況です。

しかしそんな今こそ商工会議所青年部の綱領、指針に基づいて事業に邁進し、地域の経済的発展や会員の能力向上に努め、活動を通して魅力を発信していくことで会員拡大にも繋げたいと今年度は考えております。

座右の銘に掲げさせていただいた原点回帰には、基本に戻るというだけではなく、様々な経験をし

たうえで物事のあり方を見つめなおすという意味を込めました。今一度原点回帰し、諸先輩方から学び得た心構えや経験を後輩たちに伝えるとともに、絆を深め、地域のさらなる発展(未来)に貢献する、その思いで本年度の会長職に取り組んでまいります。

これまでと変わらぬ皆様からのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### <4月14日(金) 総会が開催されました>

高岡商工会議所伏木支所にて総会が開催され、総勢19名が出席しました。

鳥山会長は「会員が地域を支える青年経済人として自らを律するとともに、豊かな郷土を築くために国宝認定を受けた勝興寺を中心としたまちづくりに積極的に取り組んでいきたい」と抱負を述べました。また卒会者で形成される伏木商工万葉会とともに地域発展貢献へと結束を固めました。

#### <今年度主要事業>

会員能力向上・会員拡大・地域魅力開発

P H O T O

L I B R A R Y



### 珠算能力検定試験 1級合格者授与式を実施

日商珠算能力検定試験 1級合格者 4名を表彰

日本商工会議所主催の珠算能力検定試験 1級合格者への合格証書授与式を高岡商工ビルで行い、塩谷雄一会頭が合格者の健闘を称え、証書と記念品を手渡した。授与式では塩谷会頭が「今後も珠算に励み、更なる高みを目指してほしい」と合格者を鼓舞した。第227回の1級試験には全国で7,757名が受験し、2,211名が合格している。

左から2番目 中村 実優さん(高岡商業高校 3年生)  
左から3番目 浦山 七海さん(高岡商業高校 3年生)  
左から4番目 中村 真子さん(高岡商業高校 2年生)  
右 今井 史馬さん(下関小学校 6年生)



### 第43回 たかおか朝市を開催

地元の野菜、雑貨求めにぎわう

今年で43回目となるたかおか朝市が坂下町通りで行列、大勢の人たちが地元の農産物などを買い求めた。初日はオープニングセレモニーが行われ、たかおか朝市実行委員会の酒井委員長は「いよいよスタートした。こぞって参加してほしい」と挨拶した。朝市は10月まで毎月第2・第4日曜日に開催され、市営御旅屋駐車場は、午前5時半～8時まで期間中無料。また、朝市開催日は「朝市電車」(米島口発/5:31→坂下町着/5:43)も運行しており、利用者にはRACDA高岡のサービス券(200円)が進呈される。



### 企業経営改革常任委員会講演会

高岡テクノドーム別館概要について理解を深める

企業経営改革常任委員会の取り組みテーマの1つである「高岡テクノドーム別館オープンに向けた誘致活動について」の議論集約および事業活動を進めるため、高岡テクノドーム別館の概要等について講演会を開催し、14名が参加した。富山県商工労働部商工企画課より、整備に関する経緯や今後のスケジュール、活用例、運営事業者選定方法について説明があり、活発な意見交換がされた。今後は具体的誘致活動や環境整備における議論を進めていく。



### 高岡まちなかスタートアップ支援施設 「TASU」見学会

御旅屋セリオに新たに誕生した施設を見学

起業や創業を後押しする新施設「TASU」がオープンし、高岡商工会議所職員12名が施設見学ツアーに参加した。広さ約1,300平方メートルのフロアは、起業・創業支援、シェアラウンジ、スタディスペースが一体で、だれでも訪れやすい、居心地の良い、「親しみやすい空間」を提供し、次世代を担う若者や起業家、幅広い世代が集い、交流する場、高岡の未来をつくる、つなげる場となっている。

TASU施設見学ツアーは5月30日(火)まで開催予定。



## 地域産業活性化常任委員会 赤レンガ建物視察会

### 赤レンガ建物の利活用について学ぶ

地域産業活性化常任委員会は17日、旧富山銀行本店「赤レンガ建物」の視察会を開催し、委員ら18名が参加した。当日は市の担当者からの案内のもと、赤レンガ建物を見学。参加者は改めて文化財的価値について学ぶとともに、活用には耐震化や改修工事の必要性があるなど、現状の課題について理解を深めた。

委員会では今回の視察会も踏まえ、引き続き赤レンガ建物の活用のあり方等について検討していく。



## 「勝興寺国宝記念 伏木観光まつり」を開催

### 4年ぶりの店舗出店で大勢の人が来場

伏木の国宝勝興寺で「勝興寺国宝記念 伏木観光まつり」が開催された。今年は4年ぶりに勝興寺の境内で飲食や雑貨の店舗が出店し、青空の下、大勢の来場者で賑わいを見せた。本堂ではステージ発表が行われ、市消防団伏木方面団がはしご乗りを披露するなど、会場を沸かせた。さらに、観光客向けにタイで人気の三輪タクシー「トゥクトゥク」が24日からの運行開始を前に、JR伏木駅前と勝興寺間を試運転し、ゴールデンウィークに向け観光客受け入れの機運を盛り上げた。



## ハラスメントに関わる 職員研修を開催

### 意謝の変化によって職場環境が変わる

高岡商工会議所では、ハラスメント防止に関わる職員研修を開催し、職員24名が参加した。講師の社会保険労務士 ハラスメント防止コンサルタントの坂下裕子氏からハラスメントの種類や様々な要因、対策などについて事例を用いながら説明を受け、職員は理解を深めた。ハラスメントの境界線について、人格の否定や攻撃の有無を考慮した上で対応することが重要だとした。一人ひとりがいきいきと働きやすい職場の実現につながる有意義な研修となった。



## ジェトロ貿易実務講座

### 貿易実務の体系や 主要な貿易書類について学ぶ

これから輸出を検討されている事業所や貿易業務に関わって間もない方を対象に海外展開セミナー「ジェトロ貿易実務講座 基礎編」を開催し、39名が参加した。講師のジェトロ貿易投資相談課 石川 雅啓 氏からは海外取引の実務として、貿易手続きの流れや輸送、決済、通関等貿易実務全般について説明があり、受講者は理解を深めた。

前日には輸出貿易の基礎知識として国内取引との違い等を解説する「入門編」を富山会場で実施している。

